

ながの門前 まちあるき

12/25木
13:30~15:30

門前で暮らす人や働く人が
それぞれの視点でお店やたて
ものや暮らしを案内します。

vol. 234 「石」めぐりの旅

大昔から身近な材料として使われ
てきた「石」。まちなかにある「石」
から読み取れるストーリーに思い
を馳せます。

持ち物：ルーペ（あれば）

※カフェ休憩時の飲み物代、実費
500円程度必要



塚原 秀之 つかはら ひでゆき
長野市埋蔵文化財センター 学芸員

大学生の頃、縄文時代の石器に使われた「石」
に惹かれ、各地に出かけては石を拾って持
ち帰っていました。市の学芸員として戸隠の
伝統的な町並みの保存に携わったことで歴
史を活かしたまちづくりに傾倒。現在は市内
各地の遺跡の発掘調査に動んでいます。

参加募集



集合：まち暮らしたてもの案内所（R-DEPOT内）

参加費：ながの門前まちあるき 1,000円（U22 無料）

空き家見学会相談会 500円（U22 無料）

定員：各10名 ※要申込

申込み：☎026-219-2280（月曜休）✉info@r-depot.com

空き家 見学会&相談会

12/10水
見学 14:00~15:30
相談 15:30~

借りられるかもしれない空き家
まだ貸すか決めていない空き家
を見せてもらいます。まちの歴史
や空き家を活用したお店の紹介も
します。見学会の後、空き家を
活用してやりたいことについて個
別でお話しをします。

<12月見学コース>

長門町元衣料品店一東町元下宿
→田町元料亭



須藤 悠 すどう ゆう
R-DEPOT スタッフ

大学生の時に空き家を借りて、改修ながら
住んでいた経験から空き家の虜に。まちの
空き家や古道具を引き継ぐR-DEPOTに入
り、日頃から善光寺周辺にある空き家の情報
収集に力を入れている。

空き家
こぼれ話

R-DEPOT は古道具の買取・販売事業もしてい
ます。古道具の買取から空き家の話に繋がるこ
ともあります。まずは家財の片付けから、その
後建物をどうするか考えるという方も多いです。

窓口開設中！
◎R-DEPOT



いろんなことを
話して来てみて

例えば...

- ・長野に住みたい
- ・家財を引き継ぎたい
- ・にぎわいをつくりたい
- ・お店をはじめたい
- ・場所がほしい
- ・アイデアがほしい

場所：長野市西後町 610-12 R-DEPOT

時間：10:00~17:00（月曜休）

問：☎026-219-2280 ■info@r-depot.com

「まち暮らしたてもの案内所」は
長野市中心市街地遊休不動産活用事業*
の一端で官民連携により実施しています。

*長野市中心市街地遊休不動産活用事業
（2015年~）

【主催】長野市中心市街地活性化協議会

【問合せ】事務局 ㈱まちづくり長野
（電話 026-267-5323）

【プロジェクト】

◎西鶴賀町エリアリノベーション（2020年~）

拠点 / 9軒長屋
協働 / 長野県建築士会ながの支部

◎石堂町エリアリノベーション（2022年~）

拠点 / まちかど図書館ぼたん
協働 / 長野県立大学 薬山ゼミ

◎まち暮らしたてもの案内所（2024年~）

拠点 / R-DEPOT
協働 / R-DEPOT

発行：まち暮らしたてもの案内所

まち暮らし たてもの会議

まち・暮らし・たてもの、それぞれの専門家がいたり、いなかったり。空き家・空き地の活用を中心に、まちの催しやこれからできるお店のこと、面白い人のことなどいろいろな話をします。いろんな人に参加してほしいです。



第32回
12/12金
16:00・17:00

門前のリノベ物件事例の
情報発信について

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料

オープン直前のリノベ物件の
振り返り（現地に行けるかも）

... etc

第33回
12/26金
16:00・17:00

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料



議題

門前の空き家活用事例の
発信について

参加者：5名

第28回

10/10

最近、善光寺周辺はインバウンドも含めて、観光客
が多くなっているが、善光寺に参拝するだけのスタイル
が多い。門前の良材の一つである路地に広がる
リノベーションのたてものなど、色んなスタイルがある。
どの様に情報を届けるのか、SNS、マガジン、書籍、WEB
など、何が適しているのか、シンポジウムなど開催して
専門家と話をしてみたいという意見もあった。

議題

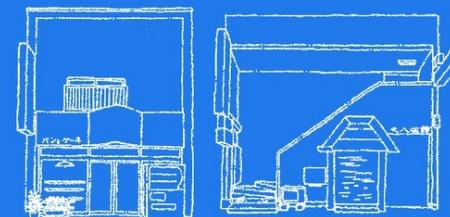
まち暮らししたてもの案内所
便りについて

参加者：3名

第29回

10/24

まち暮らししたてもの案内所を設置し、まち暮らししたてもの会議も
再開させてからおよそ1年。毎月発行してきた案内所
便りも1年分になり、デザインや配布状況、認知の
具合などについて話し合いました。来年度からは、また
違ったデザインの便りが届けられるかもしれません。



まち暮らししたてもの 案内所便り

2025

12月

まちでくらし、
まちを歩いて、
まちのことを話す
わたしたち

